

粘膜ワクチンによる感染症のコントロール

再興・新興感染症の流行を背景に、感染症制御におけるワクチンの役割が改めて注目されています。本セミナーでは、粘膜免疫の基礎と粘膜ワクチン研究の現状について、研究経験を交えてわかりやすく紹介していただきます。

新型コロナウイルスによるCOVID-19やインフルエンザウイルス、肺炎球菌などの感染症の多くは粘膜面を介して病原体が侵入してくる。

従って、粘膜における感染症のコントロール、つまり分泌型IgA抗体を中心とした粘膜免疫を誘導することが重要な鍵になってくる。

本講演では、粘膜免疫の基礎とそれを応用した粘膜ワクチン開発戦略や現在開発中の粘膜ワクチンについて紹介する。



講演者：藤橋浩太郎 先生

（千葉大学病院・特任教授

米国アラバマ大学バーミングハム校名誉教授

東京大学医科学研究所・特任教授）

日時：2027年1月15日（金）17：00～18：30

場所：歯学部6階第6セミナー室

本講演は、歯学部FD講演会と大学院口腔科学研究科・医学研究科・医科栄養学研究科の大学院特別講義を兼ねております。